

情熱の歌人 与謝野晶子

(1878
1942)

Q

その子二十歳にながるる黒髪の

おごりの春のうつくしきかな

やは肌のあつき血汐にふれも見で

さびしからずや道を説く君

これは、23歳の晶子が初めて世に出した歌集の中の二編です。世間を驚愕させたその歌集は次のどれでしょう。

- ①みだれ雲 ②みだれ髪 ③ほつれ髪
(答えは末尾に)

明治十一年(1878)、堺の和菓子で有名な駿河屋の三女として誕生した晶子は、近代文学史上屈指の女性であるとともに、革新の詩歌人と謝野鉄幹の妻であり、11人の子の母でもありました。

明治三十四年(1901)に出版したこの歌集では、鉄幹へのあふれる愛と、青春の悦びと官能をみずみずし

く歌いあげました。歌壇からは激しい非難をあびたものの、若い世代の圧倒的な支持を得て浪漫主義の全盛を築きました。

明治三十七年(1904)、日露戦争に国中がわく中で、出征した弟を歎いた詩「君死にたまふことなかれ」は、世の流れに逆行する危険思想と攻撃されます。しかし晶子は、「歌は歌、まことの歌をうたわぬ歌に何の価値があるのか」と毅然と対しました。

晶子は人が人としてありのまま生きることを説き、女性の経済的自立と女子教育の必要性を訴えま

した。彼女の豊かな才能はこれらの評論に留まらず、源氏物語など古典文学の現代語訳、小説、童話など多岐にわたります。

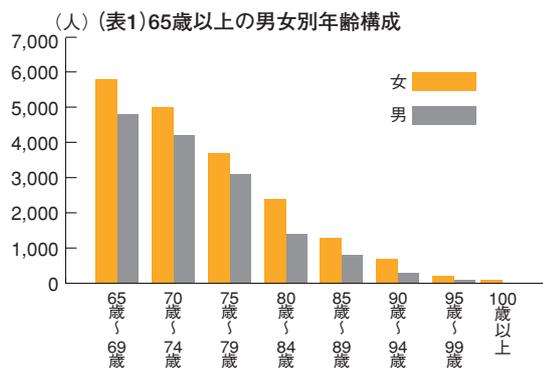
生涯詠んだ歌は実に5万首。歌を愛し、人を愛した晶子はまさに「情熱の歌人」でした。

【クイズ答え】②みだれ髪



◆ ◆ ジェンダー統計 ◆ ◆ 介護保険サービス

2000年4月に介護保険制度がスタートして、西東京市でもサービス利用者が年々増加しています。平均寿命が女性85歳・男性78歳と長寿化する中、西東京市の介護保険サービスの利用者を男女別に比較してみました。



(表2) 在宅での介護保険サービスを利用している人

年度(年)	65歳以上の男性総数	男性(人)	65歳以上の女性総数	女性(人)
2003	13,943	822	18,351	1,829
2004	14,356	984	19,000	2,120

(表4) 市内の訪問介護事業所で働くヘルパーの男女比(人)

事業所	総数	女性	男性
A	38	38	0
B	45	40	5
C	56	51	5
D	216	209	7
E	55	53	2
F	71	70	1

(表3) 施設に入所して介護保険サービスを利用している人

年度(年)	65歳以上の男性総数	男性(人)	65歳以上の女性総数	女性(人)
2003	13,943	234	18,351	639
2004	14,356	236	19,000	668

※2003年、2004年ともに8月1日の数字。

国の統計では、65歳以上の高齢者の介護保険サービス利用者は12%、約275万人で、その内、約70%が女性です。西東京市でもほぼ同様の比率で女性利用者が圧倒的に多いことが(表2)(表3)で分かります。

- その背景としては、高齢化に伴い65歳以上の単身者が増加しており、
- 65歳以上のひとりぐらしは女性が52.7%、男性が15.0%と、女性が多い。80歳以上になると80%が女性。(男女共同参画統計データブック—日本の女性と男性—2003より)
 - 要介護者数は85歳から89歳で65歳以上人口の39.3%、95歳以

上では72.9%と急増し、その内の約70%が女性。(国民生活基礎調査平成13年度版より)など統計によって示されています。

また、介護者は女性が76.4%、男性が23.6%と「介護されるのもされるのも女性」というのが実態です。それはヘルパーの男女比にもあらわれています。

2005年の介護保険制度の見直しにあたっては、男女別にニーズを把握した、よりきめ細かいサービス内容の検討と、社会的な介護支援策の強化、ヘルパーの労働条件の整備など、期待したいものです。